

# 令和4年度第1回 社会教育委員会・文化ホール運営協議会議事概要

日 時：令和4年4月21日（木）  
午前10時15分～12時

場 所：ユーベルホールリハーサル室

出席者：別紙のとおり

○午前10時15分開会

【1】あいさつ

【2】議事

（1）令和4年度予算にかかる報告事項について

（2）公共施設再編検討委員会中間報告について（公共施設再編検討委員会事務局）

（3）社会教育等関係施設にかかる再編検討のポイント

○午前12時閉会

## 令和4年度第1回社会教育委員会・文化ホール運営協議会主な意見の整理

(※「➡」は町出席者の発言)

### ①町の検討体制や意見反映の問題について

- ・ 個別のポイントについて言うことはないが、報告が唐突に出てきた印象がある。
- ・ 町の引き継ぎ体制に問題があるのでは。例えばテニスコートのメンテナンスについて伝えてきたがうまく引き継がれていない。課長も短期間で変わり、細かい部分が引き継がれない。
- ・ レポートで気になったのは町の体制。組織。課長を長い期間セクションにおいておかなければならないと思う。本件についてはプロジェクトチームを作って処理すべき。
- ・ 行政として引き継ぎ等はなされているとおもうが、我々は実態がどうなのかがわからない。会議でいい提案があっても検討されたか、引き継ぎができていないのかがわからない。
- ・ ホール運営協議会には長く参加している。協議会のたびに廃館などの話が出てきた。存続の議論のなかで初めは町が「やります」といったことが、予算の問題で毎回違う話になっていってしまう。なので、“また出たか”というのが素直な感想。来年再来年と、長期を見越して建てられた内容なのかと思ってしまう。
- ・ ホール運営協議会での議論の真剣さが伝わらず、同じことを繰り返し、はがゆい思いをしている。  
➡今年度は課長級のプロジェクトチームで議論してもらおう。現場の意見を重視したい。施設ごとの案を出してもらおう。

### ②使用料の適正化や運営の見直しについて

- ・ 行政が使用料を設定すると原価主義になる。相場主義で設定する必要がある。原価主義だと経費を積み上げて考えるので高くなる。場所やレベルなどの相場で決めるべきもの。  
➡利用料については全施設、他の市町村も含めて適正化価額を検討する予定。
- ・ 資料に記載されている、ユーベルホール民営化について、民間へのはたらきかけをしているのか  
➡指定管理については企業ヒアリングを実施。現状、ユーベルホールには正職員を配置しておらず、人件費を抑えているので、指定管理を導入すると今よりも2,000万くらい高くなるとのことだった。
- ・ 民営化についても現実的なのか。民間もメリットがなければ受けられない。民営化もあきらめざるをえないのか判断が必要。この時点で現実的かどうか分析すべきである。
- ・ ボランティアを活性化して、経費を少しでも和らげることはできないか。  
➡ボランティアも重要なポイント。中間報告では公民連携の促進も記載

### ③施設の見直しについて

・施設の見直しの経費について、基金（町の貯金）も少ないのにどのように考えるのか。経費を踏まえて考え、どのくらいの予算で考えているのか。長期的にどうかも含めて答申がなされるのか。

➡機能を集約するための設備更新費用と維持管理費用等を粗い試算だが比較検討する。ただし新設であれば、今ある施設の総面積と同じ面積のものをそのまま建てるのは難しいと考えている。総合計画の目標人口 15,000 人を見据えた施設のコストは検討可能。

・西地区も学校統合による空き校舎が出てくる。複合施設を新設するのではなく、それらの利用が考えられる。しかし学校も改修しなければ使えない。高山では小学校を改修してコミュニティセンターとしたが、今年度からグラウンド等以外は使えなくなってしまった

➡場合によっては小学校活用も考えられる。高山コミュニティセンターは建築基準法の問題があり使用できなくなった。学校活用には十分な用途変更が必要となるが、用途変更をすることで様々な法規制が厳しくなる。

### ④まちづくりについて

・総面積を少なくしていくが、魅力あるまちづくりにはこれが要る、というものを示すべき。

➡スクラップだけではなく、ビルドも検討が必要。夢のあるものを答申にまとめたい。

・人口推計では、町の人口減少は他地域より自然減とのギャップが大きい。2, 3 世代目が住まないことが要因。そこを食い止めるための対策を打てないのか。それを考えるべき。

➡昨年度、総合まちづくり計画をとりまとめた。計画はこの4月からスタートし、空き家の掘り起こし、流通の円滑化を図る。テレワークのできる住環境を PR していきたい。ただ、特効薬はないので地道な活動をしていきたい。

・町としてこの財政難をどういうふうに行っているのかもわからない。ユーベルやシートスがある、といった豊かなまちでなければ、人は住まない。どのようにしたらお金が入るのかを検討すべき。

・「ユーベルがあるから住みたい」という価値観はないのではないかと。施設への思いは人それぞれ温度差がある。関心がないものはなくしてもよいという考えになってしまう。

・理想を言えば、色んな施設があり、それぞれが楽しめる状況が必要。それを整備するのは行政の役割。

・しかし今はお金がなく、それが重荷になってしまっているということ。

➡10 年間の財政推計は作っているが、伝わっていないのは反省材料である。今年度は施設をトータルで考える。どの施設が必要か仕分けは必要なると思う。

・森町に企業が進出している。それに注力すべき。最近東ときわ台に転入が増えた。企業に対し、光風台や東ときわ台などアピールをできないか。人口を増やさないとお金も入ってこない。

➡森町の物流施設の企業の話では、雇用確保の難しさがあるとのこと。どこか住居がないかという話ももらっているが、町内では空き家が出てこないことが課題。一方、森町の企業用地は完売。今後とも企業が増えていくので、チャンスもあるのではないかと。

・長年文化展の実行委員会で活動しており、文化展では展示だけでなくコーラスなどと一緒にやっていきたいと事務局に言っていたが、難しいと言われてきた。10年たってやっとオオサカンのコンサートを組み込むことができた。もっと早くから取り組んでいたら、ダンスなど色んな人たちが関わってくれていたのではと思う。その文化展も2022年から文化祭に名称変更。ユーベルホールも一緒に活用できないかと考えている。

・「だんでらいおん」もよい施設だと思う。孫も楽しみに通っている。そういうところのお母さんたちの意見は、町にこどもといっしょにホッとできるスペースがないということ。子育て中の人や保育所の一時利用などの手続きを行うのが、いかに大変か行政に分かってもらえていない。

### ⑤学校統廃合との関係について

・報告でいちばん気になるのが、小学校の跡地を利用しようとしていること。

・町の小中学校は統廃合で2小2中にするようになったが、生徒が減少すると何年か後に見直し、1小1中になる。そもそも教育委員会としては1小1中の答申であった。

・2小2中が決定した際、人口が減って1小1中にならないように施策を打つとしていたが、実感として、そのようなものは何もない。であれば、2小2中の状態で公共施設再編による跡地利用を行うと、数年後1小1中になった際、再度跡地利用の話が出て、内容が変わることを危惧する。

➡今年、東能勢一貫校がスタート。この流れは止められない。町としては2小2中を堅持していく思い。そのなかで公共施設再編を検討する。

・再編検討委員会の中で、統合後の新しい学校との関係について議論されているのか。お金がないなら複合施設の新設はあり得ない。であれば新設される学校の活用を検討すべき。学校が聖域になっていないか。新しい施設をつくるのであれば、もう一つを作る必要はないのではという話。中間報告にはどこにも書いてあるようなことしか書いていない。大丈夫なのか。

・学校にはお金を入れるが、その他は削減してなんとかしなさいという状況。予算の1割カットはいいが、どういうことをするのか。あたらしい施策がないのに、町のスタンスとして投じるところと削るところもはっきりさせるべき。

➡義務教育学校との関係も考慮していく。ただ、建物は実施設計に入っている状況。設計を見るかぎり、公共施設を入れ込むのは難しさがある。学校開放もすすめているところだが、池田小の事件から難しくなっている。

### ⑥今後の検討過程について

・学校再編については、子どもたちの声を聴いたのか疑問。「地元根付いた学校」や「より生徒数の多い学校」といった議論のみがなされ、子どもの意見が聴けていないのが残念だった。みな自分の関わっている施設に愛着がある。なぜその施設の利用者の声を聴かないのか。

・今の利用料はあまりにも安すぎる。そこのベースを少し上げることで施設が良くなるのであれば反対はしない人もいるのではないか。

➡利用者の声は聞かなければと思っている。

- ・意見がどのように反映されるのかわからない。この場で言っても無駄。という思いがある。
- ・行政と住民との意思疎通、コミュニケーションができていないことが問題と感じた。コミュニケーション不足があらゆる面で障がいになっている。
- ・組織を通じて意見が伝わっても、受け止めた上層部が、その熱意を受け止めているのか。
- ・コミュニケーションをよくするツール、方法を考えるべき。
- ・町政報告などもあるが、選挙前など個人が発する情報。自治会との懇談会を実施しているとのことだが、町として情報がもっと伝わるようにすべき。
- ・再編検討委員会での検討と並行して、社会教育委員会や文化ホール運営協議会との話をすべき。この会議がなんのためにあるのかということになる。すり合わせながらやってほしい。
  - ➡今年度は各施設のあり方について課長級でたたき台を作成。その方向性が出た段階で本日のような場を設け、意見をいただきながら調整したいと思う。
- ・1月に答申とのことだが、その後パブリックコメントなどをして町長が決定するのか。選挙直前となるが、公共施設再編は影響の大きい話。選挙によって内容が歪んでいくことを危惧する。選挙前に決定すべきなのか疑問。
- ・例えばユーベルホール廃止を決定したあと、選挙で存続を掲げる人が当選し、存続します、ということになってしまうなど、政争の具になる。選挙の後のほうがよいのではないか。
  - ➡パブリックコメントについては検討中。その他住民ワークショップも実施。待ったなしの問題であり、1月に答申を受けて早急に決定したいと思っている。